



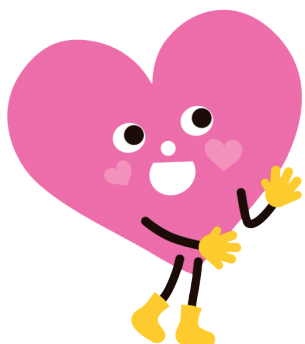
東広島市社協だより

ふれあい

vol. 216

2022. 6. 1

Social Welfare in Higashihiroshima



特集

～地域共生社会の実現に向けて～ 第4次地域福祉活動計画を策定しました

「地域福祉活動計画」は、市の「地域福祉計画」と一体的に策定し、高齢になっても障がいがあっても、子どもから高齢者まで、誰もがいつまでも安心して暮らし続けることができるまちであるために、一人ひとり、また地域全体でどのような取り組みが必要かを協議し、住民主体、官民協働で推進していくための計画です。



令和4年度東広島市社会福祉協議会 事業計画

今日、人口減少や少子高齢化の進展、地域のつながりの希薄化など、世帯を取り巻く社会環境は大きく変化し、社会的孤立やダブルケア、8050問題など既存の福祉制度では対応が困難な複合的課題や生活課題が顕著化しています。また、新型コロナウイルス感染症による経済への影響等により、離職者や生活困窮世帯からの相談が増加しており、今後も継続した相談支援が求められます。

令和4年度は、“つながり 気づき 支え合う みんなが主役の地域を目指して”を基本理念とする「第4次地域福祉活動計画」の初年度として、東広島市及び地域の関係機関・団体と連携して、地域共生社会の実現に向けた取り組みをさらに推進するとともに、ウィズコロナの視点を持った感染症対策を講じつつ、地域福祉を推進する中核機関としての役割を果たすための事業を積極的に行ってまいります。

重点施策

1 地域共生社会の実現

本市における地域共生社会の実現を図るため、東広島市をはじめ様々な機関・団体等と連携し、地域の見守り・支え合い活動の推進や活動の場づくり、包括的な相談支援体制づくりを行います。また、包括的支援体制の整備を推進するため、①多職種連携、②地域調整、③エリア担当の3分野のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域共生社会の構築を目指します。

① 多機関連携CSW

地域共生相談窓口（HOTけんステーション）において、相談者や市相談窓口を含む相談支援機関が抱える生活課題の把握を行い、課題解決に向けた連絡調整等を行います。

② 地域調整CSW

各日常生活圏域の状況を集約し、市と情報共有を図るため、エリア担当CSW並びに生活支援コーディネーターへの支援や補助、研修会の開催等の企画を行います。

③ 【拡充】 エリア担当CSW

住民に身近な圏域において、住民が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる環境づくりを支援し、住民主体の地域づくりの推進を行います。

2 SDGsの理念の普及と取り組み

地域の皆さんが共に支え合い、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるような地域づくりを行うための事業活動を通じて、SDGsの理念の普及と目標達成に向けた取り組みを推進します。

3 第4次地域福祉活動計画の進捗管理

本年度から実施する第4次地域福祉活動計画の推進について、進捗状況を確認・評価する「評価委員会」を新たに設置します。

計画の評価に当たり、本計画の策定にいただいた策定委員に評価委員を依頼し、本計画と単年度の事業計画・報告内容を照らし合わせ、客観的に評価する仕組みをつくりまします。

SDGs17の目標の内、社協が取り組む6つの目標と関連する主な事業

<p>1 貧困をなくそう</p> <p>あらゆる場所で、あらゆる形の貧困を終わらせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域共生相談窓口（HOTけんステーション）での相談支援 ○生活困窮者自立支援事業 ○生活福祉資金等の貸付 など 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢の全ての人々が健康で安心した生活を送れるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域課題の解決に向けた協議の場づくり ○住民主体による福祉活動の創出 ○健康福祉まつり等の開催 など 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>誰もが質の高い教育を受け、生涯にわたって学習できるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東広島熟年大学の開講とボランティア活動の参加促進 ○ボランティア団体や専門職等と協働した福祉体験学習の実施 など
<p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>経済成長を進めながら、働きがいのある仕事をできるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革の推進 ○職員の人材育成 など 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>安全で災害に強く、全ての人に住みやすいまちにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民自治協議会・地区社協・地域サロン等の活動支援 ○災害時のネットワークづくりと地域防災リーダーの養成支援等 ○権利擁護センターの運営 など 	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> <p>SDGs達成のために、行政、企業、住民たち全員が協力し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○圏域ごとの関係者ネットワーク協議会の開催 ○社会福祉施設連絡協議会と他機関とのネットワーク構築 など

4 第3次中期経営計画の推進

①「地域福祉の中核を担う人材の育成」、②「組織運営の強化と地域から信頼される組織づくり」、③「安定した経営と持続可能な経営基盤づくり」の3つの経営戦略及び重点計画により、職員研修体制の整備、事務事業の効率化、財政基盤の強化などに取り組むとともに、計画の着実な推進に努めます。

5 介護保険事業の経営改善

介護保険事業等の事業所経営では、より一層の効率的運営などの経営の改善に努めながら、地域から信頼され、選ばれる事業となるよう、サービスの質の向上に努めます。

6 【拡充】地域連携ネットワークの構築と中核機関の整備

地域共生社会を推進していくための基盤となる個人の権利を擁護するため、成年後見制度利用促進法に基づく、権利擁護支援の地域連携ネットワークや中核機関の設置に向け、東広島市の中核機関等のあり方や権利擁護が必要な方への地域課題の情報共有や支援策について市と協議します。

7 【新規】業務継続計画（BCP）の策定

近年、毎年のように発生する大雨等の自然災害や一昨年から続いている新型コロナウイルスの更なる感染拡大等に備え、有事の際においても、必要な事業やサービスが継続的に提供できる体制を構築するため、法人運営全体及び介護保険・障害福祉サービス分野における業務継続計画（BCP）を策定します。

令和4年度 当初予算

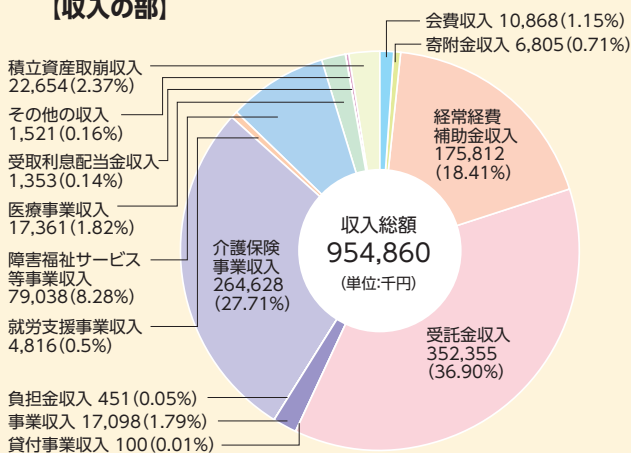
法人全体予算
(前年度比 -3.31%)

954,860千円

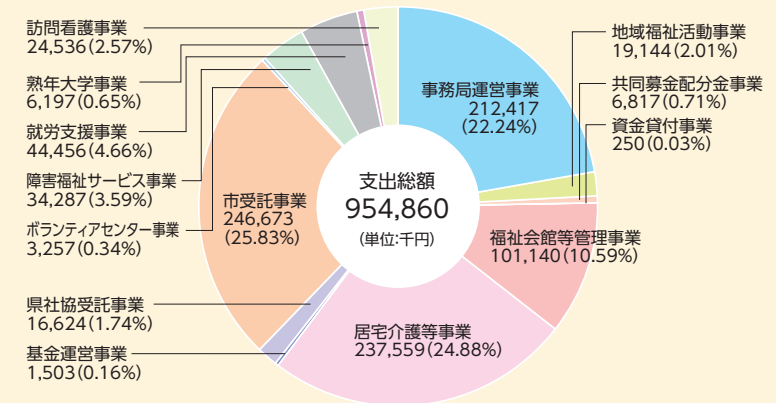
(単位:千円)

事業区分	当初予算額	前年度当初予算	前年対比 (%)
社会福祉事業	921,012	955,537	-3.61%
公益事業	33,848	31,991	5.80%
合計	954,860	987,528	-3.31%

【収入の部】



【支出の部】



※内部取引金額 90,157千円は除いて掲載しています。

令和3年度 社協会費の実績報告と 令和4年度 社協会員募集のお願い

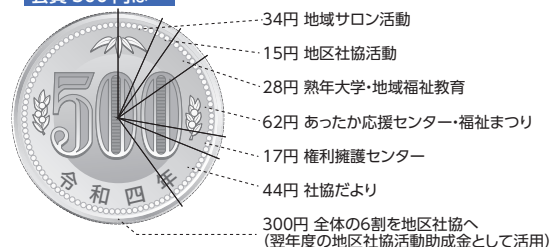
社協は、市民の皆様と一緒に、地域の人をひとりぼっちにさせないよう共に支え合い、安心して暮らせる地域づくりを推進しています。一人でも多くの市民の皆様へ社協活動にご賛同いただき、社協会員として「あったか笑顔のまちづくり」にご支援とご協力をお願いいたします。

●令和3年度実績 ご支援ありがとうございました。

会費区分	対象	年額(1口)	令和3年度実績	
一般会費	市内の世帯構成員	500円	8,438,600円	16,878口
賛助会費	社会福祉事業関係者・社会福祉団体構成員など	1,000円	935,000円	935口
特別会費	市内に事業所を有する法人・個人など	5,000円	860,000円	172口
団体会費	社会福祉施設・社会福祉団体など	3,000円	270,000円	90口

●一般会費の主な使いみち (令和4年度当初予算より)

会費500円は…



みなさまの会費により
多様な事業を支えて
いただいています。

